

エンドトキシン検出用
コントロールスタンダードエンドトキシン
使用説明書

本品は *Escherichia coli* UKT-B 株を培養して得た菌体からフェノール法^{1),2)} によって抽出したエンドトキシンです。

ライセート試薬によるエンドトキシン検出用のコントロールスタンダードとしてご使用下さい。

内 容

コントロールスタンダードエンドトキシン *E. coli* UKT-B 由来
(凍結乾燥品)…………… 1 バイアル(500 ng)
1 バイアル当り LPS 実質重量 500 ng が入っています。
(添加剤としてマンニトールとグリシンを含む)

使用 方法

本品にエンドトキシフリーの水 5 mL を加えて激しく攪拌して完全に溶解して下さい。エンドトキシン 100 ng/mL の溶液が得られます。溶解後は冷蔵保存(2~10℃)で1ヶ月間使用できます。

上記の溶液(100 ng/mL)をエンドトキシフリーの水で順次希釈を繰り返してご使用下さい。希釈後の本溶液はできるだけすみやかにご使用下さい。

力価は国内標準エンドトキシン、US Reference Standard Endotoxin などの標準品と対比して決定して下さい。相対力価は LAL のロットによって変わることがありますのでご注意下さい。

ご使用上の注意

1. ピペットその他の器具、溶解、希釈用水などによるエンドトキシンの汚染には十分ご注意下さい。
2. 本品はリムルステスト以外の目的には使用しないで下さい。
3. 本品を吸いこんだりしないよう取扱いには十分ご注意下さい。

〔貯 法〕 2~10℃保存

〔包 装〕 500 ng (精製 LPS として)

〔コード番号〕 293-16541

〔参考文献〕

- 1 . Westphal, O., Lüderitz, O., Eichenberger, E. and Keiderling, W. :
Z.Naturforsch., **7b**, 536 (1952).
- 2 . Westphal, O., Luderitz, O. and Bister, F. : *ibid*, **7b**, 148 (1952).
- 3 . Akama, K., Kuratsuka, K., Homma, R., Kanoh, S., Niwa, M.,
Iwanaga, S. and Nakahara, C. : *Bacterial Endotoxin*, eds. Homma,
J. Y. *et al.*, p395, Verlag Chemie (1984).
- 4 . *The United States pharmacopeia 21th, The National Formulary
16th*, p1165, U.S. Pharmacopeial Convention Inc (1984).
- 5 . Hochstein, H.D., Mills, D.F., Outschoorn, A.S. and Rascogi,
S.C. : *J. Biol. Standardization*, **11**, 251 (1983).

製造発売元

富士フイルム 和光純薬株式会社

大阪市中央区道修町三丁目1番2号

Tel : 06-6203-3741

1810KA1